

第64期 中間報告書

平成21年12月1日～平成22年5月31日



マルカキカイ 株式会社

グローバルにもものづくりができる強みを活かし、 多様化するユーザーニーズに対応してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当第2四半期連結累計期間（平成21年12月1日から平成22年5月31日）におけるわが国経済は、雇用情勢に厳しさが残りましたが、エコカー補助などの景気刺激策と新興国市場の拡大に支えられ、企業の業績回復とともに設備の過剰感が和らいでまいりました。米国でも緩やかながら

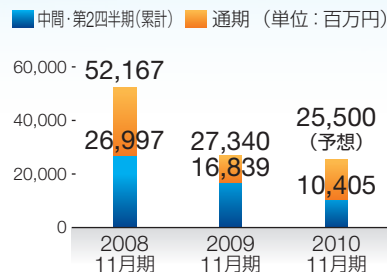
景気回復が全米に広がり、中国など新興国では自動車や電機メーカーが設備投資を拡大しました。

このような状況において、当社グループでは、日本、米国、中国、アジアの4極体制の構築と営業力の機動性アップをはかるとともに販管費の削減（前年同期比13%減）に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,405百万円（前年同期比38.2%減）、営業利益は62百万円（同

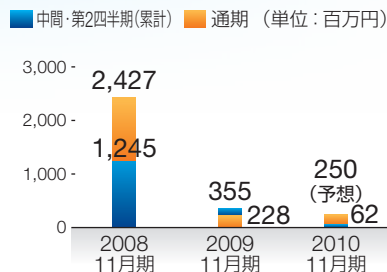
財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

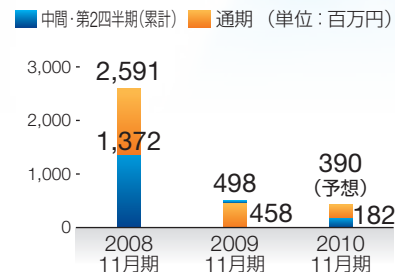
▶ 売上高(連結)



▶ 営業利益(連結)



▶ 経常利益(連結)



82.5%減)、経常利益は182百万円(同63.4%減)、
四半期純利益は72百万円(同68.3%減)となりました。

産業機械部門の受注は、特に米国、中国、東南ア
ジア市場において徐々に上向いて推移しております
が、これに甘んじることなく、海外拠点におけるサー
ビス体制の整備によるサービス機能の強化などを引
き続き実行してまいります。また、環境関連、省エネ、
合理化などで新しいシステムをユーザーに提案する
営業を積極的に展開してまいります。

当社グループの経営陣は、ますます多様化・グロー
バル化するユーザーのニーズをいち早く捉えながら、
多数の海外拠点を有し、グローバルなものづくりに貢

献できる当社の強みを最大限に発揮できるよう、最
善の経営方針を策定するよう努めております。当社
グループは、「顧客の満足」を使命とする経営方針を
忠実に守ってまいり所存ですので、株主の皆様にお
かれましては、今後とも当社グループへのご支援・ご
鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

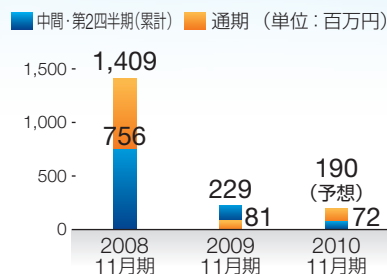


取締役会長
乾 孝義

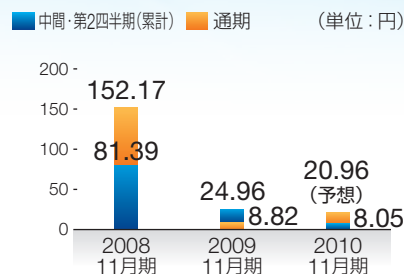


取締役社長
釜江 信次

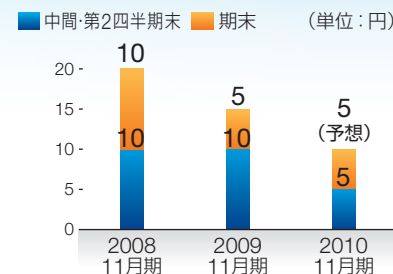
▶ 四半期(中間・当期)純利益(連結)



▶ 1株当たり四半期(中間・当期)純利益(連結)



▶ 1株当たり配当実績および予想



部門別の概況

SEGMENT REPORT

▶ 産業機械部門

政策効果や輸出、生産の増加から景気の最悪期を脱しつつありますが、国内設備投資の回復力は弱く、工作機械、鍛圧機械およびその周辺機器の需要が大幅に落ち込みました。

この結果、当部門の売上高は7,783百万円（前年同期比39.3%減）、営業利益は351百万円（同43.5%減）となりました。



マシニングセンタ

▶ 建設機械部門

新政権が掲げる「コンクリートから人へ」という政策のもと公共事業のさらなる削減と民間設備投資の低迷から建設市場は収縮し、受注競争が激しくなるなか、国内販売が低調でした。レンタルは前期とほぼ同水準で、輸出は低い水準ながら増加基調で推移しております。

この結果、当部門の売上高は2,609百万円（前年同期比34.8%減）、営業利益は91百万円（同49.5%減）となりました。

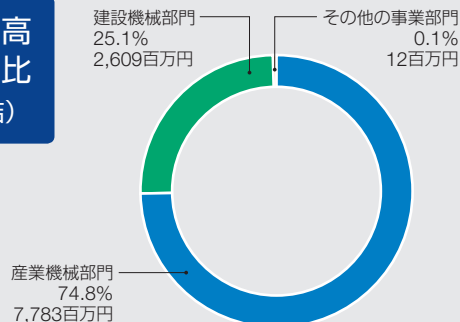


クローラークレーン

▶ その他の事業部門

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。当部門の売上高は12百万円（前年同期比36.8%減）、営業利益は3百万円（同3.6%増）となりました。

売上高
構成比
(連結)

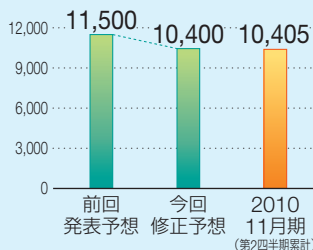


当第2四半期連結累計期間は前回予想を上回る収益を達成いたしました。

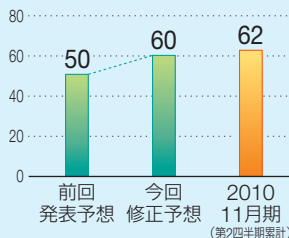
わが国の経済は、中国や新興国の需要拡大と日本政府の各種経済対策の効果により回復基調にあるものの、景気の先行き不透明感から国内の設備投資は抑制状態が続いております。このような環境のなか、当社は経費の圧縮と老朽化したレンタル用建設機械の売却処分により収益の

改善に努め、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前回予想を上回ることができました。通期につきましては、景気回復基調が続くと予想されるものの、9月末にエコカー補助金制度が期限を迎えるなど先行き不透明感があることから、業績予想を据え置いております。

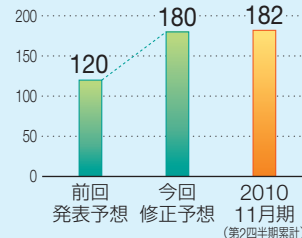
▶ 売上高 (単位:百万円)



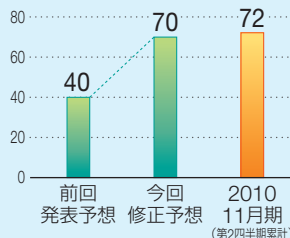
▶ 営業利益 (単位:百万円)



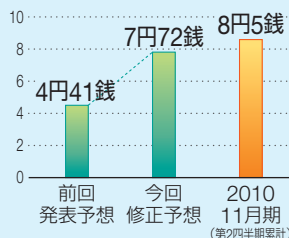
▶ 経常利益 (単位:百万円)



▶ 四半期純利益 (単位:百万円)



▶ 1株当たり四半期純利益



業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

▶ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期末 平成21年11月30日 現在	当第2四半期末 平成22年5月31日 現在
資産の部		
流動資産	13,112	12,879
固定資産	6,138	6,152
有形固定資産	3,848	3,748
無形固定資産	117	109
投資その他の資産	2,171	2,294
繰延資産	4	3
資産合計	19,255	19,035
負債の部		
流動負債	6,573	6,340
固定負債	615	577
負債合計	7,188	6,917
純資産の部		
株主資本	11,842	11,870
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,339	9,367
自己株式	△ 211	△ 211
評価・換算差額等	△ 92	△ 65
その他有価証券評価差額金	56	121
土地再評価差額金	269	269
為替換算調整勘定	△ 418	△ 455
少数株主持分	316	312
純資産合計	12,066	12,117
負債純資産合計	19,255	19,035

▶ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成20年12月1日 至平成21年5月31日	当第2四半期(累計) 自平成21年12月1日 至平成22年5月31日
売上高	16,839	10,405
売上原価	14,674	8,787
売上総利益	2,164	1,617
割賦販売未実現利益戻入額	32	28
割賦販売未実現利益繰入額	35	13
差引売上総利益	2,160	1,632
販売費及び一般管理費	1,804	1,570
営業利益	355	62
営業外収益	213	142
営業外費用	69	22
経常利益	498	182
特別利益	0	4
特別損失	37	2
税金等調整前四半期純利益	461	184
法人税、住民税及び事業税	266	119
法人税等調整額	△ 41	△ 5
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△ 2
四半期純利益	229	72

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成20年12月1日 至平成21年5月31日	当第2四半期(累計) 自平成21年12月1日 至平成22年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 288	716
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	△ 555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	△ 363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 83	△ 13
現金及び現金同等物の増減額	△ 381	△ 216
現金及び現金同等物の期首残高	6,166	4,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,784	3,822

株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

▶ 株式の状況 (平成22年5月31日現在)

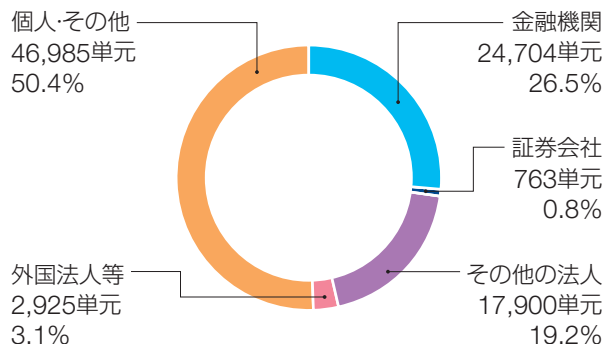
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	5,971名
単元株式数	100株

▶ 大株主の状況 (平成22年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおい損害保険株式会社	550,000	6.1
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
マルカキカイ従業員持株会	390,672	4.3
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,100	2.9
竹 田 和 平	250,000	2.8
田 中 清 子	232,500	2.6

(注) 持株比率は自己株式(262,123株)を控除して計算しております。
また、自己株式は上位10名から控除しております。

▶ 所有者別株式分布状況 (平成22年5月31日現在)



▶ 会社概要 (平成22年5月31日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年12月16日(1946年)
本 社 所 在 地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資 本 金	14億1,441万円
従 業 員 数	連結 387名、単独 165名

▶ 役員 (平成22年5月31日現在)

※取締役会長	乾 孝 義
※取締役社長	釜 江 信 次
取締役兼常務執行役員	竹 下 敏 章
取締役兼常務執行役員	森 康 明
取締役兼執行役員	真 鍋 聡
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取 締 役	湯 村 幸 次
常 勤 監 査 役	記 録 勇 次
常 勤 監 査 役	塚 原 実
監 査 役	柴 功 安
監 査 役	崎 原 嘉 行
執 行 役 員	難 波 経 久
執 行 役 員	吉 儀 裕 之

上記※印は、代表取締役であります。

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

期末配当受領株主確定日 11月30日

中間配当受領株主確定日 5月31日

定時株主総会 2月

基準日 定時株主総会については 11月30日
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

各種お問合せ 電話 ☎️ 0120-094-777

※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。

※特別口座に登録された株式関係のお手續用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。

手續用紙請求電話 ☎️ 0120-244-479
(本店証券代行部)

☎️ 0120-684-479
(大阪証券代行部)

インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<http://www.maruka.co.jp/>

なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>